

## 6 学習指導計画作成上の留意点（学習指導案作成例）

小学校

第6学年 体育科学習指導案

平成〇〇年△△月□□日 ◇曜日 ▽校時  
第6学年 △組（男子〇〇名、女子△△名）  
場 所 体育館  
指導者 ○ ○ ○ ○

### 1 単元名 ボール運動（ネット型：ソフトバレーボール）

※「領域」「型：種目」または「種目」を記載する。

### 2 単元の目標（第5学年及び第6学年の2学年分） \*（ ）は第5学年で取り上げた内容

- (1) 次の運動の楽しさや喜びに触れ、その技能を身に付けることができるようにする。（技能）
  - ・ ネット型では、簡易化されたゲームで、チームの連係による攻撃や守備によって、攻防をすることができるようにする。
- (2) ネット型の運動に進んで取り組み、ルールを守り助け合って運動したり、（場や用具の安全に気を配ったり）することができるようにする。（態度）
- (3) （ルールを工夫したり、）自分のチームの特徴に応じた作戦をたてたりすることができるようにする。（思考・判断）

※ 「学習指導要領の内容」から語尾を「～できるようにする」に変えて記載する。  
※ 「技能」、「態度」、「思考・判断」の順とする。

### 3 運動の一般的特性(例)

ボール運動は、ルールや作戦を工夫して、集団対集団の攻防によって競争することを楽しむことや喜びを味わうことができる運動である。

ネット型ゲームは、ネットで区切られたコートの中で攻防を組み立て、一定の得点に早く達することを競い合うことを課題としたゲームである。

技能として、「ボール操作」は、サービス・パス・返球など攻防のためにボールを制御する技能である。「ボールを持たないときの動き」は、空間・ボールの落下点に移動するなど、ボール操作に至るための動きや守備にかかわる動きに関する技能である。

その領域や内容の運動の特性を明記する。

（小学校学習指導要領解説 体育編 P17・18参考）

### 4 児童の実態

#### (1) 運動に触れる楽しさの体験状況

児童のこれまでの運動経験や日常的な運動活動について、この単元にかかわる内容を明記する。

#### (2) 「態度」、「思考・判断」に関する学習体験状況

これまでの体育学習において、「態度」、「思考・判断」の内容はどのような指導が行われ、学習を進めるに当たって必要な力がどの程度身に付いているかを明記する。

#### (3) 技能（体づくり運動は「運動」）の習得状況

これまでの体験において「技能」（運動）の内容はどの程度身に付いているのか。また、体験にかかわる具体的な人数等を明記する。（体育学習、少年団活動、部活動等）

※ 2学年毎に指導内容が示されているので、当該学年の前後の系統性も踏まえた記述を加える。（第6学年であれば、第5学年や今年度の指導及び習得状況を記述する。）

#### (4) 体力の状況

新体カテストのデータから単元とかかわる体力や学校として伸ばしたい体力の状況について明記する。

### 5 学習を進めるに当たって

上記の児童生徒の実態から、教師がどのような内容に力点を置き指導していくかを具体的に明記する。その際に、単元の目標を具現化するための教師の意図的・計画的な指導が明記されなければならない。また、体力向上に向けた具体的な取組についても明記する。

「運動への関心・意欲・態度」、「運動についての思考・判断」については、ゴール型、ベースボール型の学習と共通で2年間に分けて指導するようにあらかじめ設定する。

※「関心、意欲、態度」「思考・判断」「技能」（中学校・高等学校は「知識・理解」も）の順で表示する。  
 ※「●」は当該学年、「・」は当該学年以外、「◎」は2学年共通を示す。

6 単元の評価規準（●第6学年 ・第5学年 ◎第5・6学年共通）

	運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
単元の評価規準	●集団対集団で競い合う楽しさや喜びに触れることができるよう、ボール運動に進んで取り組もうとしている。 ●ルールやマナーを守り、友達と助け合って練習やゲームをしようとしている。 ・用具の準備や片付けで、分担された役割を果たそうとしている。 ◎運動をする場を整備したり、用具の安全を保持したりすることに気を配ろうとしている。	・ネット型のゲームの行い方を知るとともに、簡易化されたゲームを行うためのルールを選んでいる。 ●チームの特徴に応じた攻め方を知るとともに、自分のチームの特徴に合った作戦を立てている。	◎簡易化されたゲームでチームの連係による攻撃や守備をするための動きができる。
学習活動に即した評価規準	①集団対集団で競い合う楽しさや喜びに触れることができるよう、ボール運動に進んで取り組もうとしている。 ②活動の中で、ルールやマナーを守り、友達と助け合って練習やゲームをしようとしている。 ③運動をする場を整備したり、用具の安全を保持したりすることに気を配ろうとしている。	①チームの特徴に応じた攻め方を知り、自分のチームの特徴に合った作戦を立てている。	①ボールの方向に体を向けて、その方向に移動することができる。 ②味方が受けやすいようにボールをつなぐことができる。 ③相手コートにボールを打ち返すことができる。

「単元の評価規準」については、「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料【小学校 体育】」平成23年11月<国立教育政策研究所 教育課程研究センター作成>のP37の評価規準の設定例をそのまま転記する。

※ 学習活動に即した評価規準については、単元の評価規準を具体化した内容を表記するが、そのままでもよい。

「運動の技能」については、学習指導要領解説の例示を参考に、具体的な動きの例を第5学年と第6学年に分けて取り上げる。

7 単元の学習計画及び評価計画 (例)

時間	1	2	3	4	5	6	7	8	
指導内容	技	小学校は1単元の時数が少なく、関心・意欲・態度及び技能においても、その時間での評価となることが多いため、指導内容の配当については省略してよい。							
	態								
学習活動	知								
	思								
	0	1 オリエンテーション ・学習のねらいを確認する。	ねらい1 ゲームで見付けた課題の解決に向けて取り組もう						
	10	学習の進め方を知り、学習の見通しをもつ。	1 用具や場の準備 2 準備運動、補助運動 3 学習のねらいを確認する	4 ゲーム①をする。 [ルール] ・ワンバウンド ・キヤッチ ・キヤッチ	4 ゲーム①をする。 [ルール] ・ワンバウンド ・キヤッチ (はじく) ・はじく	4 ゲーム①をする。 [ルール] ・ワンバウンド ・はじく (キヤッチ) ・はじく	4 ゲーム①をする。 [ルール] ・ワンバウンド ・はじく ・はじく	4 ゲーム①をする。 [ルール] ・ワンバウンド ・はじく ・はじく	4 ゲーム①をする。 [ルール] ・ワンバウンド ・はじく ・はじく
	20	・ルールの確認	5 課題解決についての話し合いをする。						
	30	・グループ決め 役割分担 2 試しのゲーム	6 チームで課題解決に向けた練習をする。						
	40	3 振り返り・片付け ・学習カードの活用 の仕方について確認	7 ゲーム②をする。						
	45		8 振り返り 9 整理運動・片付け						
	評価	関	用具の安全③	ルールやマナー②					進んで取り組む①
		思					作戦を立てる①		
技		ボールをつなぐ②	相手コートにボールを打ち返す③		ボールに体を向けて移動する①				
準備物									

学習活動に即した評価規準との整合性を図るとともに、本時の目標の語尾は「できるようにする」とする。

8 本時の学習（6 / 8 時間）

(1) 本時の目標

- チームの特徴に応じた攻め方を知り、自分のチームの特徴に合った作戦を立てることができるようにする。 (思考・判断)

(2) 本時の評価項目

- チームの特徴に応じた攻め方を知り、自分のチームの特徴に合った作戦を立てている。 (思考・判断)

9 学習指導過程（例）

段階	学習内容及び学習活動	指導上の留意点	○：評価項目 (評価方法) 【Aの例】	「努力を要する」状況と判断される児童への手立て
はじめ 10	本時の目標（学習内容）を実現するために、どのように学習活動を仕組んでいくのかを具体的に明記する。	本時の目標を実現するために、どのような指導を行うかを教師の立場から具体的に明記する。学習内容や学習活動に応じた留意点を明記する。		
	1 用具や場の準備をする。	・徐々に心拍数を高めるようにさせる。		
	2 準備運動、補助運動をする。 3 集合、整列、挨拶、健康観察			
なか 30	4 本時のねらいを確認する。			
	自分のチームの特徴に合った作戦を立てて、ゲームを楽しもう。			
	5 ゲーム①をする。 [ルール] ・ワンバウンド ・はじく（キャッチ） ・はじく	・よい動きに気付けるように、望ましい動きを称賛する。	評価する学習活動の場面と横並びにする。評価項目をそのまま明記し、評価方法及び【Aの例】を記載する。	具体的な手立てを明記する。
	6 作戦について話し合いをする。	・作戦ボードを使用し、動きがイメージできるようにさせる。	○ チームの特徴に応じた攻め方を知り、自分のチームの特徴に合った作戦を立てている。 (思考・判断) 【Aの例】 自分のチームの特徴に合った作戦を適切に立てている。	ゲームの内容を作戦ボードやデータを用いて確認させ、どのような動きをすればよいかを確認しながら作戦を立てるように助言する。
	7 作戦を踏まえた練習をする。	・作戦を生かすためにどのような動きをすればよいかを確認しながら行うよう助言する。		
8 ゲーム②をする。				
まとめ 5	9 ゲーム②を振り返る。	・作戦が成功したときの動きとうまくいかなかったときの動きの原因について確認する。		
	10 整理運動、片づけをする。			